

V 「豊かな田園都市」
を目指したまちづくり

1 (1) 地方創生の取組 「起業創業の支援」

担当：地域振興課

起業創業の取組が民間でも進む中、守山市においてもこれらの取組と連携および支援し、機運の醸成に努めています。

令和2年度の取組の内容（事例紹介）

民間との連携

地域・未来 ミーティング

「起業家の集まるまち」を目指し、市内金融機関、士業および県、国の支援機関らとの、起業支援側の横のつながり作り、意識共有等により、市をあげた「ワンストップ支援体制」構築に向けた意見交換会を令和3年3月1日実施（予定）。

もりやまキャリア アチャレンジ

本市在住・在学の中高生を対象とした起業家教育プログラム。守山市を舞台として社会課題を解決するビジネスプラン創出と発表会を実施。今年度は3校18名の高校生が参加し、1月24日に起業家や投資家の前で発表会を実施。

行政等での取組

中学生向け 職業講話

「守山で暮らす、働く」ことを考える機会、地域で活躍する創業者、起業家から地域との関わる機会を作り、守山市への愛着や誇りの醸成を目的として、市内起業家らによる職業講話を市内3中学校にて開催。（昨年1校→3校へ拡大）

クラウドファン ディング活用支 援補助金

「新しい生活様式」への対策の中で、新規事業や市内資源を活用したサービス展開に対するクラウドファンディングを活用した資金調達にかかる手数料の補助制度を新設。8月より開始し、今年度3件の申請実績。

創業塾 創業セミナー

「守山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき創業支援を強化。今年度は「創業セミナー」を2回実施。また、オンラインを併用した創業塾を計4回実施。

新しい生活様式への対応に向けオンライン等も活用するなか、各種支援機関や教育機関等の連携により、「起業」や「新たな挑戦」を応援する地域全体の機運の醸成に向けた取組を行ってきました。

1 (2) 守山市内の起業・創業の支援拠点

担当：地域振興課

市街地エリアを中心に、民間の交流拠点、官民連携の拠点が連携し、地域の起業活動を支えています。新たに今春に新たなコワーキングスペースも開業予定です。

ROOTコワーキングスペース



運営：株式会社 いと
所在：守山市三宅町
設立：2017年3月
○古民家を改装したコワーキング

Future Lab



運営：株式会社 earth kiss
所在：守山市吉身2丁目
設立：2019年11月
○旧法務局跡地を活用したSDGs発信拠点

TORKS

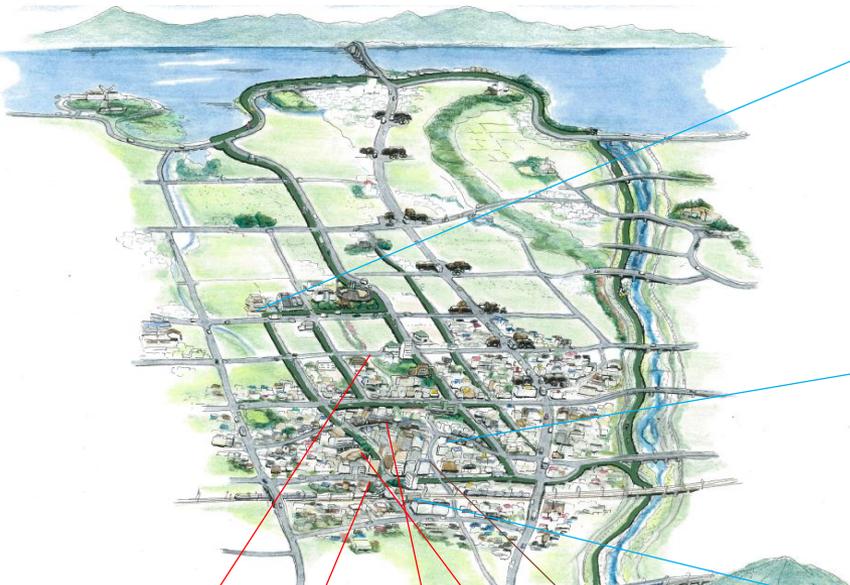


運営：株式会社 アナログエンジン
所在：守山市浮気町
設立：2019年1月
○駅東口側のコワーキングスペース

今春に新たにコワーキングスペース開業予定

運営：株式会社 ジャパニーズ
所在：守山市梅田町（駅徒歩5分）
設立：**2021年春（予定）**
○空き倉庫物件をリノベーションし、今春オープン予定

CHECK



イベント等で活用できる市内拠点



守山市立図書館
(貸室スペース)



あまが池プラザ
(貸室スペース)



守山駅チカ守山
(イベントスペース)



中山道 うの家

2 商工業・産業の振興

担当：商工観光課・農政課

市内産業の新たな取り組みへの積極的な支援

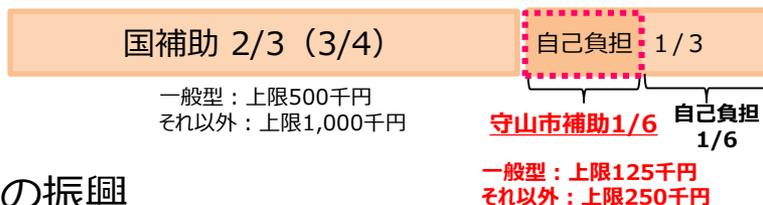
新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けながらも、新たな取り組みへのチャレンジを支援します。

(1) 小規模事業者持続化事業補助金

国の「小規模事業者持続化補助金」について、守山市の独自の追加乗せ補助として、事業者負担の一部を助成します。

種類	補助率／上限額
一般型	1 / 6 / 上限125千円
A型・B型・C型	1 / 6 / 上限250千円

補助イメージ



(3) 農業の振興

○モリヤマメロン活性化プロジェクト

生産者数がピーク時より半減しているモリヤマメロンの新規就農者を確保するため、JAと連携し、就農マッチングフェアでのブース出展などを行ったことにより、2名の新規就農者の確保に繋がりました。今後は、新規就農者確保に加え、現生産者への支援を行い、産地拡大によるブランド力の維持を図ります。

○もりやまフルーツランドの果樹の産地振興

フルーツランドでは、生産者の高齢化などにより、果樹産地の維持・継続が心配されていましたが、新たに産地振興を担う農業法人が現れ、観光農園として整備される予定とのこと。今後、産地振興に繋がる地元と同法人の取り組みを支援してまいります。

(2) つなぐ守山、産業振興イベント支援補助金

市内の商工業、農水産業、福祉等の民間団体が、にぎわいイベントを開催する費用に対し支援します。

補助率／上限額

1 / 2
上限20万円

補助件数

10件

想定イベント<マルシェ>



3 都市計画の取組

担当：都市計画・交通政策課

(1) 守山駅周辺の活性化

これまでの取組み

「守山市中心市街地活性化基本計画」に基づき、JR守山駅周辺を中心としたエリアの活性化に取り組み、その波及効果により市全体を活性化を目指してきました。民間事業者が主導するイベント等、まちなかに新たなにぎわいが生まれてきています。第2期計画の最終年度を迎え、検討中の事業があるものの、重点事業に位置づけたハード事業が具体化し、継続的なイベント等ソフト事業についても順調に取り組みが進捗しています。



今後の取組み

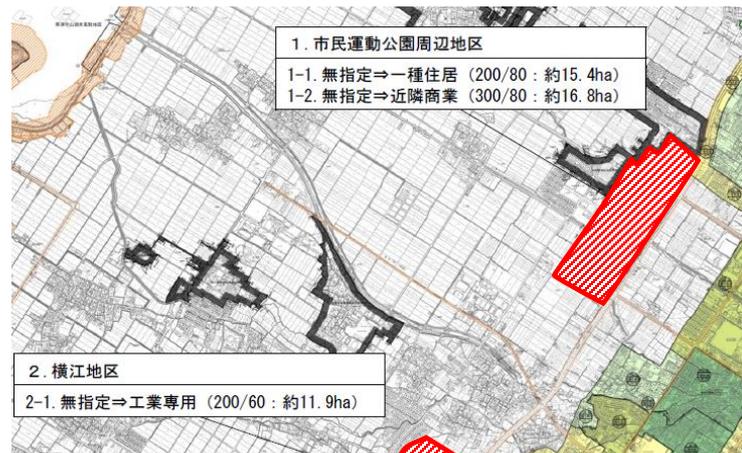
引き続き、地元自治会、地元住民、各商店街、まちづくり会社、商工会議所等と連携し、活性化の施策を推進します。

とりわけ、平和堂守山店建替え等の継続・検討中の事業、それに加え、守山の玄関口の渋滞対策と、商店街を中心としたイベント等の民間主導による活性化を柱として重点的に取り組みます。

(2) 市街化区域編入

県による大津湖南エリアの区域区分見直しにあたり、市街化区域編入予定の「市民運動公園周辺地区」「横江地区」の用途地域の指定を行います。

併せて、「市民運動公園周辺地区」は、市民の文化スポーツ・交流の活性化を図るため特別用途地区を指定します。「横江地区」は、周辺環境に配慮しつつ既存工業団地と一体となった良好な工業団地の形成を図る地区計画を決定してまいります。



3 地域公共交通の取組

(1) 路線バスの再編

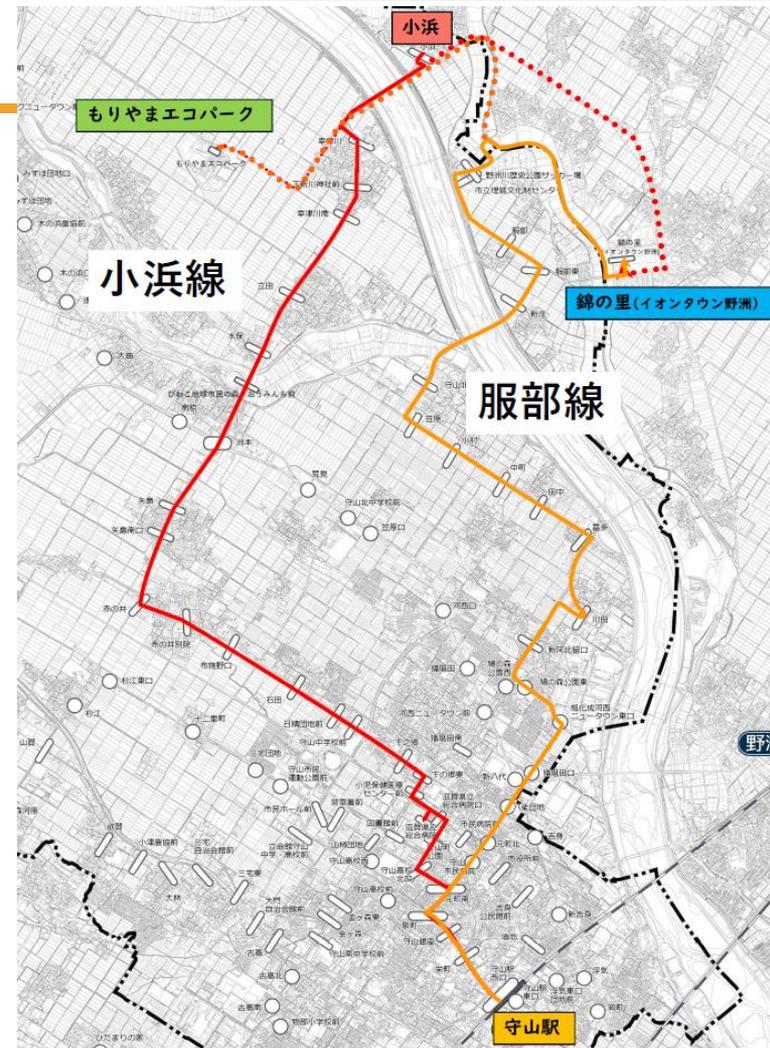
小浜線、服部線、ビッグレイクラインについては、安定的な運行を目指して、今春オープンする「もりやまエコパーク」と、ご要望が多い野洲市の商業施設へアクセスする路線へ4月より再編されることになりました。多くの方が利用されることで、バス路線の維持につながります。公共交通の利用について、ご協力をお願いします。

(2) スーパー学割バスのエリア定期券化

本市が学生の通学支援とバス利用者増を目的に実施しています「スーパー学割定期券」について、従来の乗降地を限定した定期券ではなく、2段階の金額でエリア設定し、同一エリア内であれば、どこでも乗降できる定期券を一部実施することになりました。来年4月1日以降に定期券を購入した学生は、例えば塾やアルバイトなどで通学ルート以外のバス停での乗降が可能となったり、また、これまで自宅近くにある2箇所のバス停が別系統であった場合に乗降不可であったことが解消される等、利便性が向上します。

(3) デマンド乗合タクシー「もーりーカー」の充実

新型コロナウイルス感染症の集団予防接種に備え、目的地(市民体育館、防災センター)や対象者を追加します。今後も、利用者の声を聞くなか、商業施設や診療所等目的地の追加、登録条件緩和などについて、バス事業者やタクシー事業者と協議を重ね、地域公共交通活性化協議会にお諮りし、さらなる利便性の向上に努めてまいります。



4 環境に関する取組

(1) 湖岸清掃運動・湖底ごみ除去活動

	木浜会場	赤野井会場
開催日時	令和2年11月1日（日）午前9時から	
参加団体	<ul style="list-style-type: none">・守山市水産振興会・守山湖岸振興会・自治会（河西学区、速野学区、中洲学区）・守山市ごみ・水環境問題市民会議・山水会他	<ul style="list-style-type: none">・赤野井湾再生プロジェクト・守山市水産振興会・自治会（守山学区、吉身学区、小津学区、玉津学区）・滋賀県・環境団体他
参加者数	193名	290名
ごみの量	破砕ごみ1,093kg 陸上ごみ：780kg 湖底ごみ：313kg	

令和3年度も赤野井湾再生プロジェクトや市民の皆さまとともに湖底ごみや清掃活動に取り組んで参ります。



担当：環境政策課

環境に関する取組

(2) 環境学習用DVDの作成

コロナ感染拡大を防止するため、自治会や小学校で環境学習を実施いただけるよう環境学習用DVDを作成しました。

- ・ホタルについて
- ・再生可能エネルギーについて
- ・ごみのポイ捨て防止について（作成予定）
- ・ごみと環境問題（守山市ごみ・水環境問題市民会議により作成中）



今後も、本DVDを活用し、交流拠点施設や小中学校での環境学習を実施します。

(3) 河川ごみ調査報告書作成・ポイ捨て防止看板設置

市では琵琶湖に流入する河川に1週間程度、ごみ回収フェンスを設置し、分析調査結果をまとめた河川ごみ調査報告書を作成しました。

また、昨年度のポスターコンクール入賞作品を活用したポイ捨て防止看板を設置しました。

引き続き、調査の継続・看板の設置を進め、河川のごみを減らすための取り組みを推進します。



担当：環境政策課

5 新庁舎整備の推進とデジタル化の推進

(1) これまでの経緯

平成29年9月 市議会より「早期の新庁舎整備について」の提言

平成31年3月 「守山市新庁舎整備基本計画」の策定

令和2年6月 新庁舎整備に係る基本設計の完了



建築概要

構造：鉄骨造

階数：4階建

建築面積：約 3,790m²

延床面積：約12,540m²

概算事業費

ハード事業計 約66億円

ソフト事業計 約13億円

事業費計 約79億円

担当：施設整備室

新庁舎整備の推進とデジタル化の推進

(2) 整備スケジュール

効率的かつ経済的に新庁舎の整備を進めるため、実施設計と建設工事を一体的に発注するDB（デザインビルド）方式を採用し、事業者を決定します。

令和2年9月	新庁舎整備に係るDB事業の発注公告
3月	DB事業の契約締結、実施設計業務の着手
9月	準備工事（先行解体など）の着工
令和4年1月	本体工事の開始
令和5年9月	新庁舎の暫定供用
10月	旧庁舎の解体工事
令和6年4月	外構整備工事の着工
令和7年3月	全整備工事の完了



なお、今年の9月より準備工事に着手するため、庁舎敷地の利用に制限が生じます。利用者の安全を第一に工事を進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

担当：施設整備室

新庁舎整備の推進とデジタル化の推進

(3) デジタル化の推進

○新型コロナウイルス感染症対策にかかる「新しい働き方」の実践のためデジタル化に取り組んでいます。

- (1) サテライト・オフィスの環境整備（地区会館等25施設の無線化）
- (2) テレワークの環境整備（専用P C 20台）
- (3) W E B 会議の環境整備（カメラ付マイクスピーカー等備品）
- (4) 公共施設予約システムの導入 など

○国が示すデジタル化の基本方針に基づく取組みを推進します。

- (1) 更なるICT活用・推進のための組織体制の整備
- (2) 行政手続きオンライン化（マイナポータル・ぴったりサービス）
- (3) マイナンバーカードの普及・利活用促進
- (4) 自治体情報システム標準化 など

○新庁舎における情報ネットワーク構築および計画的なICT機器の導入に取り組めます。

担当：情報政策課